

あすの太田っ子を育てる 親への提言

小学生編



太田市教育委員会

はじめに

近年、核家族化や共働き家庭の増加など子どもを育てる環境は大きく変化してきております。このような中、保護者の皆様にとりましては、育児不安や悩みを抱えながらも愛情を持って日々子育てに奮闘されていることと思います。

家庭は、子どもにとって最初の人間形成がおこなわれる場であります。それゆえ、子どもの健やかな成長を望むにあたり、家庭における親の役割というものは大変に重要なものとなってまいります。

そこで、本市では、これからの子どもたちが心身ともに健やかに成長されることを願い、家庭教育冊子「あすの太田っ子を育てる親への提言」を作成しました。

日常生活の中で、お父さん、お母さんが、仲良くいつも心をひとつにして、互いに信頼し合い・助け合う家庭、そして、感謝に満ちあふれ、明るく平和な家庭をつくることこそ、“人間性豊かな明るくたくましいあすの太田っ子”が育っていくものと思います。

これからの社会に生きる子どもたちには、広い心、健やかな心身、そして豊かな創造力を持ち、家族や地域社会のために役立つような人に育ててほしいと誰もが願うものでありましょう。

「子どもは親の後ろ姿を見て育つ」といわれます。お父さん、お母さんには、是非とも我が子の良き手本となり、素晴らしい家庭をつくっていただくため、この冊子をご家庭でご活用されることを心より願っております。

終わりに、この冊子の作成にあたり、ご協力をいただきました太田市社会教育委員の皆様方をはじめとし、関係各位に対し心より感謝申し上げ発刊のことばといたします。

太田市教育委員会

* お役に立ちます *

小学生期における家庭教育の重要性を考え、
大切なあなたのお子さんの健やかな成長を願って、
この時期における家庭教育のあり方を
12のポイントにまとめました。
「たくましい太田っ子」を育てるため、
是非ご活用ください。

この資料は、目次といくつかの欄からできています。

- 1 目次は、お子さんの学年（年齢）に合った項目がすぐ見つかるようになっています。
- 2 同一年齢の子どもたちに見られる一般的な発達傾向を「特徴」の欄にまとめました。
- 3 お子さんの学年に応じて、ご家族に心がけていただくことがらを「育てるヒント」の欄にまとめました。
しかし、お子さんの成長は百人百様です。あせらず育てましょう。
- 4 最後に「親へのひと言」として、保護者の方に視点をあててコメントを載せています。
- 5 巻末に子育てに利用できる主な施設名、およびその電話番号を載せてありますのでご活用ください。

目次

◆ 1年生の頃（6～7歳）

- ①子どもは鏡 _____ 1
- ②ふれあいを大切に _____ 2

◆ 2年生の頃（7～8歳）

- ③思いやりの心を _____ 3
- ④地域とのふれあい _____ 4

◆ 3年生の頃（8～9歳）

- ⑤経験こそ宝 _____ 5
- ⑥我慢の出来る子にしましょう _____ 6

◆ 4年生の頃（9～10歳）

- ⑦ねばり強い子にしましょう _____ 7
- ⑧感謝と奉仕 _____ 8

◆ 5年生の頃（10～11歳）

- ⑨学ぶことの大切さ _____ 9
- ⑩感動する心 _____ 10

◆ 6年生の頃（11～12歳）

- ⑪善悪の判断 _____ 11
- ⑫自覚と責任 _____ 12

○子育てのことわざや心構え _____ 13

○子育てに利用できる主な施設及び電話番号 _____ 14

◆ 1年生の頃（6～7歳）

① 子どもは鏡

特 徴

- 自分中心の行動や考え方がまだ強い。
- 動作はのろいが正確さが出てくる。
- 模倣行動が多く、とくに父母のまねをする。



育てるヒント

- 衣服は自分で脱いだり着たり、片づけさせたりする。
- 朝の食事、洗顔、歯磨き、排便等の習慣をつけさせる。
- 早寝・早起きの習慣をつけさせる。
- 時間表や連絡帳を見て、道具がそろえられるようにさせる。
- 自分の使ったものは、言われなくても整理できるようにさせる。
- 履物を脱いだら、必ずそろえることを教える。

親へのひと言

子どもが社会の一員として歩き出します。社会に出ればルールがあります。約束もあります。自分のことは自分でできるようにしましょう。何でもしてあげることが愛情と思っていませんか。親として人間としてのケジメを教えましょう。



◆ 1年生の頃（6～7歳）

② ふれあいを大切に

特 徴

- だんだんと親から離れ、友達と遊べるようになる。
- ルールのある遊びを好むようになる。
- きまりをよく守ろうとする。



育てるヒント

- できるだけ外で体を動かして、多くの友達と仲よく遊ぶようにさせる。
- 親も隣り近所とのふれあいを大切にする。
- 「おはよう」「こんにちは」などのあいさつをさせる。
- 友達のことや学校でのことを「子どもの目を見て」よく聞くようにする。
- 遊びに行くときは、行き先を告げて、明るいうちに帰ることを教える。
- 個人差があるので、自分の子と友達を比較しない。

親へのひと言

人間同士が信頼し合い、助け合い、ゆずり合うことで心は安らぎ、幸せになります。人と人との間が豊かであることは尊いものです。そのためにも友達とよく遊び、遊びの中から生きる知恵をはぐくみましょう。



◆ 2年生の頃（7～8歳）

③ 思いやりの心を

特 徴

- すべての物に心と命があるということを信じている。
- 親や大人に自分を認めてもらいたいという気持ち強い。
- 興味あるものに夢中になる。

育てるヒント

- 家族の一員としての自覚をもたせるために、てつだいをさせる。
- お年寄りや障害者などとの交流の機会を多くし、いたわりの気持ちをもたせる。
- 年齢のちがう子どもとの交わりをたくさん経験させる。
- 「いじめ」などについて家族で話し合ってみる。
- 花や虫、鳥や魚などの世話をさせる。



親へのひと言

「思いやり」は親の温かい愛情によって育まれます。親が、ご先祖様をうやまい、おじいさん、おばあさんと日々ふれあう姿を、子どもは観察しているのです。家族の絆、結束力を考えてみましょう。



◆ 2年生の頃（7～8歳）

④ 地域とのふれあい

特 徴

- 行動にスピードや巧みさが出てくる。
- 活動的なものに興味・関心が向く。
- じっとしていないでたえず動きまわる。



育てるヒント

- 地域の祭りや行事には子どもと一緒に参加する。
- 身のまわりの鳥や虫、草や木の名前を一緒に調べる。
- 近くの山や河原、野原でいろいろな自然とのふれあいを深め、自然を大切にすることを教える。
- 家族や団体でのキャンプなどに積極的に参加してみる。
- 月や星など宇宙の話をしてあげる。

親への一言

自然とのふれあいを大切にしましょう。毎日の食事についても、自然界の命をいただいていることを子どもに伝えましょう。地域の行事に参加し、その文化や先人の教えを伝達しながら尊い命がなくなっていることを自覚させましょう。



◆ 3年生の頃（8～9歳）

5 経験こそ宝

特 徴

- 運動能力が発達し、よく動き、よく食べ、よく眠る。
- その子らしい個性が次第に現れてくる。
- 友だちと、グループをつくりはじめる。

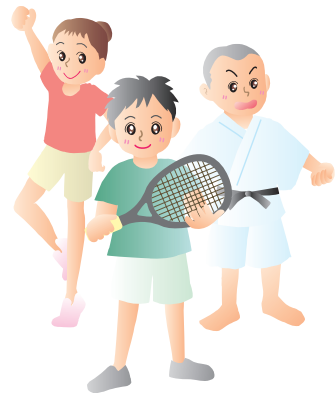
育てるヒント

- 自主性を大切にし、世話をやき過ぎないように気をつける。
- 自分で取り組ませて、失敗や成功の体験をたくさんさせる。
- 家庭の中で、自分が考えていることや体験などの話をさせる。
- なんでも「危ない危ない」でなく、多少の争い・冒険・怖い体験もさせる。
- ちょっとの雨、風、寒さ、少しの距離での車送迎など過保護にしない。
- スポーツ活動、団体活動などへは積極的に参加させる。



親への一言

失敗をとがめず、何事にもチャレンジをさせましょう。名前を呼んだら「はい」と元気に返事をさせること、他人から何かしてもらったら、お礼を言う習慣をつけさせましょう。小さなことでも誉めたり、認めたりしながら自信を持たせ、行動力のある子に育てましょう。



◆ 3年生の頃（8～9歳）

⑥ 我慢の出来る子にしましょう

特 徴

- きびしいルールのある遊びを好むようになる。
- 時間を気にしないで遊びに夢中になる。
- 想像力が増し、空想と現実の入りまじった行動をとる。
- うれしいこと、悲しいことを表情たっぷりに表現できるようになる。

育てるヒント

- 欲しいと言ってもすぐには与えないで我慢の体験をさせる。
- 努力したこと、良くできたことを心からほめてあげる。
- テレビやゲーム機は時間を決めて遊ばせるようにする。
- すべてのことが自分の思いどおりになるとは限らないことを教える。
- 多少からかわれたくらいでは、腹を立てないようにさせる。
- 小遣いはたくさん与えず、親の労働により得た大切なものであることを教える。



親へのひと言

人は体験の中から、欲求に対してコントロールする力を養います。親が過保護になりすぎると、そのコントロールの力を奪ってしまうものです。会話を通じて、親と子が話し合いながら考える力を育てましょう。

◆ 4年生の頃（9～10歳）

7 ねばり強い子にしましょう

特 徴

- 大人や親に逆らったり、怒りの感情を言葉にあらわしてくる。
- 考える力、記憶する力が一段と増す。
- 大人から見るとつまらないような物でも、集めて宝物のように大切に作る。
- 知識欲がさかんで、筋のある話に熱中する。

大人なんて…



育てるヒント

- 小さな事でも継続的な仕事を与え責任をもたせる。
- 自分ひとりで物事を仕上げたりする経験や喜びを体験させる。
- 目標を立て、全力でたちむかう生活態度を育てる。
- 家庭での役割を分担させ、終りまでやりぬくようにさせる。
- 嫌いなこと、いやなことの中にも大切なことがあることを教える。

親へのひと言

家事のお手伝いにしても、スポーツや芸術等にしても、地域活動においても、継続することの大切さと喜びを教えましょう。何か目標を立て、それが実現した時は一緒に喜びましょう。



◆ 4年生の頃（9～10歳）

8 感謝と奉仕

特 徴

- 自分たちの仲間社会をつくっていろいろな行動をする。
- 社会性が増して、「自己中心性」が減ってくる。
- 集団の一員であるという意識が芽生えてくる。

育てるヒント

- 人の親切に対して「ありがとう」と言える子にする。
- 公共の場や自然を大切にすることを教える。
- 子ども会その他、団体を通して奉仕活動に参加させる。
- クリーン作戦など、各種のボランティア活動に家族で参加する。
- 小さい子、体の不自由な人、お年寄りなどの手助けをすることを教える。



親へのひと言

「ありがとう」はとてもすばらしい言葉です。人と人が互いに認め合い、共に生きている実感を味わってください。人は一人では生きられません。支え合ってこそ充実した人生が送れるのです。だからこそ感謝の心を常にもち、相手の立場に立って行動しましょう。



◆ 5年生の頃（10～11歳）

9 学ぶことの大切さ

特徴

- 性的な成熟にともなって個人差がはっきりしてくる。
- 身近なものから、広い世界へと興味が広がっていく。
- 大人の不合理、矛盾を指摘し理屈を言う。（反抗期）

同じ歳なのに…



育てるヒント

- 勉強のつまずきに十分注意をする。
- その子の持ち味、特徴、興味・関心のあるものをほめたり話題にする。
- 生活の中で小さな進歩を見出し認めてあげる。
- 余暇をつくり、楽しく過ごす工夫を家族で考える。
- 人間は、生涯にわたって学ぶものであることを親の生活で教える。
- 「いじめ」「差別」が現れてくる頃なので、人間らしさについて家族で考える。

親へのひと言

子どもは成長するにつれて自我が目覚めます。子どもは子どもなりに「生きる」ということを考え始めます。「不思議だなあ」と思ったことに対して、親としても「考える場」、学習する機会を与えましょう。簡単に答えを導きだすのではなく、一緒に考える姿勢が大切です。



◆ 5年生の頃（10～11歳）

10 感動する心

特 徴

- 仲間意識がさらに強くなる。
- 美しいもの、知的なもの、道徳的なものが喜びの原因として加わってくる。
- 名誉心の満足も加わってくる。
- 集団の中で他を意識し認められたいと思う。



育てるヒント

- 真剣に生きる姿に感動する親こそ、子どもの豊かな心を育てる最も良い教師である。
- よいもの、美しいものに接して感動したことを素直に表現できる子に育てる。
- 新聞、テレビなどの中に出てくる感動的な行為について家庭で話し合う。
- ハイキングなどに行った時「きれい!」「すごい!」「すばらしい!」と感動の表現ができるようにする。
- 博物館、美術館、音楽鑑賞、スポーツ観戦を家族で楽しみ、家庭の中で話題にする。



親へのひと言

子どもを親の枠組みや感情で一方的に考え方を押しつけていませんか？子どもは人として、今、成長しようと頑張っているのです。美しいものや地域の伝統文化やスポーツ体験など、身体を使って感動する心を育てましょう。

◆ 6年生の頃（11～12歳）

11 善悪の判断

特 徴

- 大人に近い言葉遣い、主張・批判・説明・質問等が多くなる。
- 集団の中で自我意識が高まってくる。
- 問題が生じたときに、先の見通しを考えるようになる。

育てるヒント

- 自分で計画を立て、目標達成に向けて頑張るようにアドバイスをする。
- 問題の解決には、勉強に限らず日常生活のよき相談相手となって一緒に考えてみる。
- 生活の中では、すぐに回答を与えず、指示し過ぎないで考えさせる。
- 社会の動きに関心を持たせるために、新聞、テレビ、その他のことについて家族で話題にする。
- 「善いことは善い」「悪いことは悪い」という善悪の判断について一緒に考える。「好き」「嫌い」で、善悪の判断をさせないようにする。



悪いことは悪いと伝える



親へのひと言

親のエゴや社会の矛盾に対して敏感になる年頃です。正しい言葉、正しいものの見方、正しい努力、正しい行いをしっかりと伝えてください。その大切な心構えを教えながら、自ら考え、行動できる子を育成しましょう。

◆ 6年生の頃（11～12歳）

12 自覚と責任

特 徴

- 親に対してやや反抗的になってくるが、兄弟をうやまい、弟妹の世話がよくできる。
- 親や家族に向けられていた愛情が友だちに移っていく。
- 仲間意識が高まり、社会への関心と批判が出てくる。



育てるヒント

- グループの中でいくつかの役割を受け持ち、みんなのために働くことを勧める。
- 親は日常生活の中で、地域との連帯を深め、自分の言葉や行動をとおして良い見本が示せるように心がける。
- 親が、福祉・サークル活動やPTAなどのボランティア活動に積極的に参加する。
- 消防、警察、郵便、ごみ・下水の処理その他、市民生活を支える多くの人々の働きを家庭でも教える。
- 世界の動きに目を向けさせ、国際理解の心を育てる。
- 自然の貴さ、怖さを教え、地球環境の大切さを教える。



親へのひと言

日本は物質的豊かさの反面、精神的な修養によって培われた誠実さ、謙虚さ、正直さが失われてきました。社会の一員として大人になるための基礎をしっかりと教えなければなりません。大人が見本です。その基礎となるのが家庭です。「あいさつ」「後片づけ」など簡単なことから徹底させましょう。

子育てのことわざや心構え

一、可愛くば、二つ叱って、三つほめ、五つ教えて、良い子になせ（二叱三賞五教の教え）（二宮 尊徳）

一、して見せて、言って聞かせて、させてみて、ほめてやらねば、人は動かじ（子どもは育たぬ）（山本 五十六）

一、教育は母の膝に始まり、幼少年時代に聞くすべての言葉が性格を形成する（I. パロー）

一、一家は習慣の学校なり、父母は習慣の教師なり（福沢諭吉）

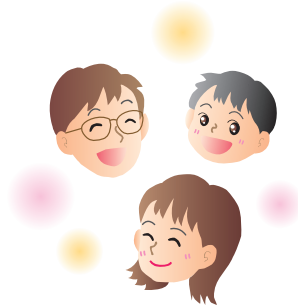
一、三つ子の魂、百までも

一、子育ては、しっかり抱いて

一、我慢の心、見守る心

一、その場で叱って、後へひくな

一、人の振り見て、我が振り直せ



子どもの教師は若くなければならない。
もしできるなら、教師自身も子どもだといひ。
そうすれば、子どもの楽しみを自らも楽しみつつ、
子どもの信頼を引きつけることができる。
（ルソーのことば）

子育てに利用できる主な施設及び電話番号

○市役所	0276-47-1111	○沢野児童館	0276-38-1991
○太田行政センター	0276-22-2603	○葦川児童館	0276-46-9329
○九合行政センター	0276-45-6978	○鳥之郷児童館	0276-32-6601
○沢野行政センター	0276-38-4281	○強戸児童館	0276-37-7773
○葦川行政センター	0276-48-6853	○休泊児童館	0276-37-9892
○鳥之郷行政センター	0276-32-6854	○宝泉児童館	0276-31-1130
○強戸行政センター	0276-37-4979	○毛里田児童館	0276-37-1314
○休泊行政センター	0276-49-0201	○尾島児童館	0276-52-2945
○宝泉行政センター	0276-32-2688	○世良田児童館	0276-52-5939
○毛里田行政センター	0276-37-1059	○木崎児童館	0276-56-8400
○尾島行政センター	0276-52-2341	○生品児童館（ポラン）	0276-20-9121
○世良田行政センター	0276-52-1002	○綿打児童館（コロソ）	0276-57-3837
○木崎行政センター	0276-56-1053	○藪塚本町児童館	0277-78-3577
○生品行政センター	0276-57-1055	○こども館	0276-57-8010
○綿打行政センター	0276-57-1041	○ぐんまこどもの国児童館	0276-25-0055
○藪塚本町行政センター	0277-78-2111	○保健センター	0276-46-5115
○藪塚本町中央公民館	0277-78-5411	○尾島保健センター	0276-52-5200
○新田文化会館（エアリス）	0276-57-2222	○新田保健センター	0276-57-2651
○藪塚本町文化ホール	0277-78-0511	○藪塚本町保健センター	0277-20-4400
○社会教育総合センター	0276-22-3442	○平日夜間急病診療所	0276-60-3099
○学習文化センター	0276-48-6280	○家庭児童相談室	0276-47-1911
○中央図書館	0276-48-6226	○ファミリー・サポートセンター	0276-46-5811
○尾島図書館	0276-60-7288	○教育研究所	0276-20-7089
○新田図書館	0276-57-2676	○ヤング・テレホン	0276-52-6701
○藪塚本町図書館	0277-78-0512	○東部児童相談所	0276-31-3721
○児童センター	0276-25-6430	○太田警察署	0276-33-0110
○九合児童館	0276-48-1148		

あすの太田っ子を育てる親への提言

小学生編

平成 22 年 3 月 改訂版第 1 刷発行

編 集 太田市社会教育委員

発 行 太田市（生涯学習課）
〒373-0025 太田市熊野町 23 番地 19 号
TEL. (0276) 22-3442

本書の内容を無断で転載、複製することを禁じます。

